

令和2(2020)年度

渋谷区立松濤美術館年報

ANNUAL REPORT : THE SHOTO MUSEUM OF ART

第24号



目 次

I	施設概要	002
II	展観	004
	令和2(2020)年度	005
III	出版	029
IV	教育普及	032
	1. 講演会	032
	2. 美術教室	032
	3. コンサート	033
	4. ギャラリートーク	033
	5. 展覧会関連イベント	034
	6. 建築ツアー	035
V	入館状況	036
VI	日記抄	037
VII	組織	038
VIII	利用案内	039

I 施設概要

建物概要

位 置	東京都渋谷区松濤二丁目14番14号		
建物構造	鉄筋コンクリート造		
	地下2階地上2階建		
敷地面積	1,034.57㎡		
建築面積	618.40㎡		
延床面積	2,027.18㎡		
階層別面積	塔屋	29.48㎡	
	2階	461.20㎡	
	1階	305.50㎡	
	地下1階	623.95㎡	
	地下2階	607.05㎡	
建築着工	昭和53（1978）年12月21日		
竣 工	昭和55（1980）年 5月 8日		
建築工事	株式会社 竹中工務店		
設 計	白井晟一研究所		
開 館	昭和56（1981）年10月 1日		

各室面積

〔2階〕	特別陳列室	30.00㎡
	サロンミュージーゼ	148.00㎡
	館長室	41.00㎡
	学芸員室	43.50㎡
〔1階〕	ロッカー室	11.50㎡
	ギャラリー	35.00㎡
	事務室	58.00㎡
	ロビー	64.50㎡
〔地下1階〕	陳列室	203.00㎡
	荷解室	15.50㎡
	格納室	28.50㎡
	収蔵庫	78.50㎡
	機械室	34.50㎡
	倉庫	10.00㎡
〔地下2階〕	ホール	121.00㎡
	映写室	6.50㎡
	第一制作室	37.00㎡
	第二制作室	34.50㎡
	講師控室	18.50㎡
	機械室	94.00㎡

平面図

凡例



男子トイレ



女子トイレ



多目的トイレ

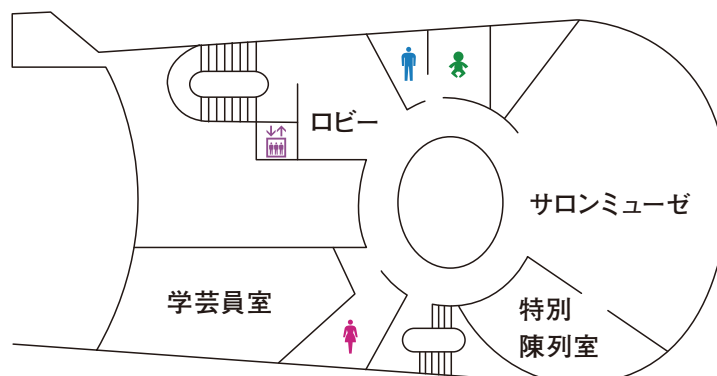


エレベータ

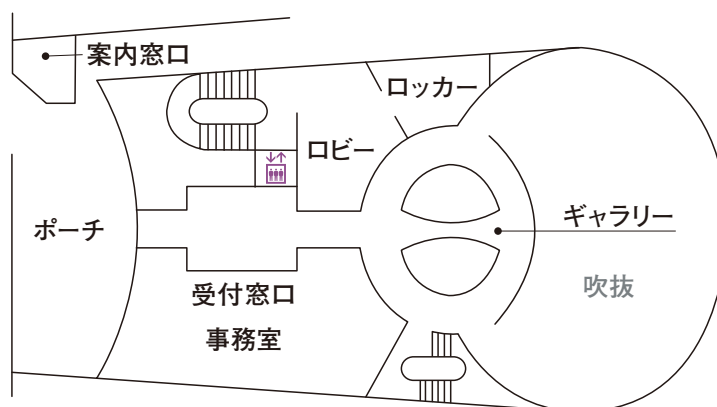


階段

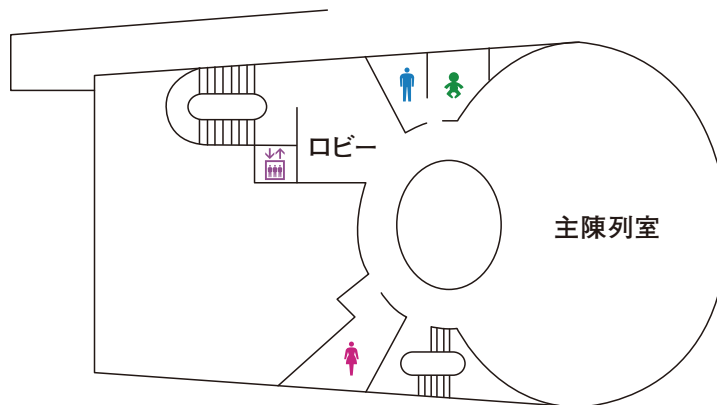
2 階



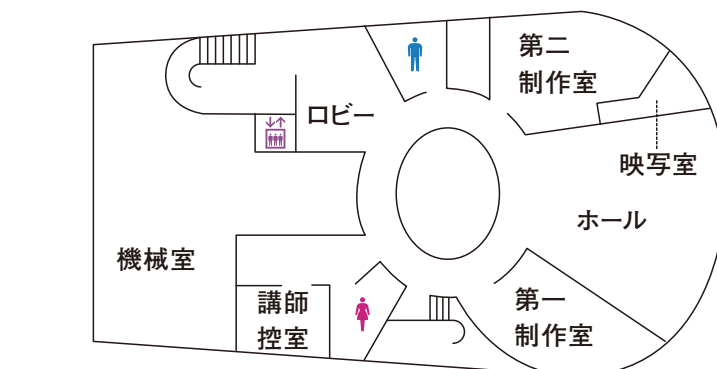
1 階



地下 1 階



地下 2 階



Ⅱ 展観

令和2(2020)年度

特別展「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催記念

いっぴん、ベッピン、絶品！～歌麿、北斎、浮世絵師たちの絵画」……………	005
特別展「真珠－海からの贈りもの」……………	009
特別展「後藤克芳 ニューヨークだより “一瞬一瞬をアートする”」……………	016
特別展「舟越 桂 私の中にある泉」……………	020
2021松濤美術館公募展 ……………	025
サロン展「渋谷区立松濤美術館所蔵 南 薫造 日々の美しきもの」……………	026

令和2(2020)年度

特別展

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催記念

いっぴん、ベッピン、絶品！～歌麿、北斎、浮世絵師たちの絵画 Paintings of Beautiful Women by Utamaro, Hokusai, and Other Ukiyo-e Artists

会期＝令和2(2020)年4月4日(土)～5月17日(日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミューゼ、特別陳列室

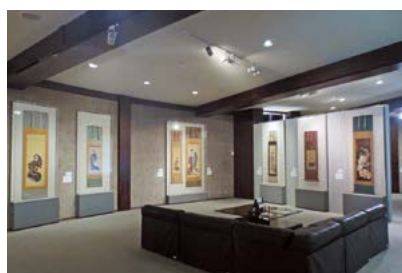
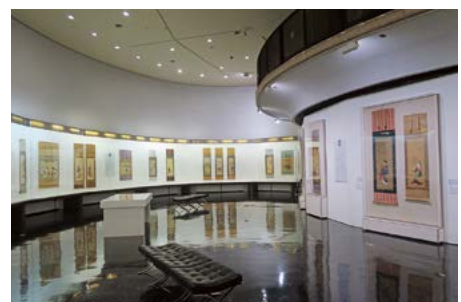
主催＝渋谷区立松濤美術館

後援＝国際浮世絵学会

日本美術の粋の一つ、江戸時代に花開いた浮世絵は、代表的な江戸美術でもあり、庶民文化が育んだ「サブカルチャー」でもある。本展はそうした浮世絵の中でも、いわゆる版画ではなく、浮世絵師たちの運筆の息吹が伝わる一点ものの絵画である肉筆浮世絵に焦点をあてた。肉筆浮世絵、特に美人画は、流派によって面貌や姿態の表現に個性が表れ、注文主の好みを直に反映するため、当時の人々が求めた美意識を如実に感じることができるものである。今回の展覧会では、慶應義塾大学文学部教授、同アート・センター所長の内藤正人氏の監修のもと、喜多川歌麿や葛飾北斎などの新発見・再発見作品のほか、重要文化財・重要美術品を含む82件を紹介した。

構成は、第1章「初期風俗画と岩佐又兵衛」にはじまり、第2章「菱川師宣の登場」、第3章「爛熟する浮世絵」、第4章「西川祐信と京・上方の美人画」、第5章「喜多川歌麿と鳥文斎栄之」、第6章「葛飾北斎とその周辺」、第7章「歌川派王国の浮世絵師」と、17世紀から19世紀に至るまでの肉筆美人画の変遷をたどることのできる展示であった。また、第8章「めくるめく春画の名品」では、普段公開される機会の少ない肉筆春画を10件展示した。

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が発令されたため、会期中全日程が臨時休館となり、一般に公開することができなかった。代替として、オンライン上での作品解説や映像公開など、会期を通じ、来館せずとも展覧会や展示作品を楽しんでいただくことができるように努めた。また、テレビ番組(生中継を含む)で取り上げられることも普段より多かった。一般公開は叶わなかったが、「ステイホーム」中にも美術が求められ、その必要性を強く感じた展覧会であった。



出品目録

No.	作家名	作品名	時代	材質技法	員数	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
第1章 初期風俗画と岩佐又兵衛 17世紀、浮世絵の幕開け									
1	岩佐又兵衛	弄玉仙図 【重要文化財】	慶長末期～元和初期頃 (17世紀前半)	紙本墨画淡彩	一幅	131.0×56.0	(公財)摘水軒記念 文化振興財団	○	
2	岩佐又兵衛	羅浮仙図 【重要美術品】	慶長末期～元和初期頃 (17世紀前半)	紙本著色	一幅	131.5×54.0	個人蔵		○
3		桜下遊楽図屏風	寛永(1624～44)頃	紙本著色	六曲一隻	77.5×224.0	個人蔵	○	
4		舞妓図屏風	寛永(1624～44)頃	紙本金地著色	六曲一隻	87.0×282.0	個人蔵		○
5		祇園社頭舞踊図	寛永(1624～44)頃	紙本金地著色	一面	26.0×68.0	個人蔵		○
6		美人と役者図	寛文(1661～73)頃	紙本著色	双幅	右:36.7×19.3 左:37.1×19.1	個人蔵		○
7		脇息に憩う美人図	延宝元～元禄16年 (1673～1703)	紙本金地著色	一幅	40.1×54.2	個人蔵	○	
第2章 菱川師宣の登場 18世紀前期までの絵画									
8	菱川師宣	二美人と若衆図	天和(1681～84)	絹本著色	一幅	82.0×47.1	個人蔵		○
9	菱川師宣	立姿美人図	元禄元～7年 (1688～94)	絹本著色	一幅	79.6×35.0	(公財)摘水軒記念 文化振興財団	○	
10	菱川師宣	紅葉下立美人図	元禄元～7年 (1688～94)	絹本著色	一幅	67.1×30.7	個人蔵	○	○
11	菱川師宣	馬上若衆図	元禄元～7年 (1688～94)	絹本著色	一幅	91.5×36.9	個人蔵	○	
12	菱川師胤	二美人図	正徳3～享保5年 (1713～20)	紙本著色	一幅	105.5×38.8	(公財)摘水軒記念 文化振興財団		○
13	懷月堂安度	やじろべえをもつ 立美人図	宝永～正徳 (1704～16)	紙本著色	一幅	67.3×25.7	個人蔵	○	○
14	懷月堂安度	立姿美人図	宝永～正徳 (1704～16)	紙本著色	一幅	111.8×46.6	個人蔵	○	○
15	懷月堂安知	立姿美人図	正徳～享保 (1711～36)	紙本著色	一幅	92.0×32.7	個人蔵	○	○
16	懷月堂度辰	立姿美人図	正徳～享保 (1711～36)	紙本著色	一幅	86.2×41.8	個人蔵	○	○
17	松野親信	読書美人図	宝永～正徳 (1704～16)	絹本著色	一幅	40.0×50.7	個人蔵	○	○
18	宮川長春	雪中遊女道中図	享保(1716～36)頃	絹本著色	一幅	88.8×41.0	個人蔵	○	
19	宮川長春	太夫立姿図	享保(1716～36)頃	絹本著色	一幅	91.7×35.9	(公財)摘水軒記念 文化振興財団		○
20	宮川長亀	見立乗鶴仙人図	享保(1716～36)頃	紙本著色	一幅	38.5×51.5	(公財)摘水軒記念 文化振興財団		○
21	宮川一笑	吉原之図	享保(1716～36)頃	紙本著色	一幅	50.0×83.5	個人蔵	○	○
22	宮川春水	洗濯する美人図	寛保～明和 (1741～72)頃	紙本著色	一幅	87.5×18.0	個人蔵	○	
23	鳥居清春	二美人図	享保(1716～36)頃	紙本著色	双幅	各105.0×37.4	個人蔵	○	○
第3章 爛熟する浮世絵 18世紀中期の美人画									
24	川又常行	廓内太夫道中図	享保～寛保 (1716～44)頃	絹本著色	一幅	51.2×68.4	(公財)摘水軒記念 文化振興財団	○	○
25	磯田湖龍斎	汐汲図	安永(1772～81)後期	絹本著色	三幅対	各81.1×31.5	千葉市美術館		○
26	磯田湖龍斎	花魁禿歩行図	天明(1781～89) 初期頃	絹本著色	一幅	79.4×34.5	(公社)川崎・砂子の里 資料館	○	○
27	磯田湖龍斎	太夫と禿図	天明(1781～89)頃	絹本著色	一幅	105.0×37.4	個人蔵	○	○

No.	作家名	作品名	時代	材質技法	員数	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
28	勝川春章	雪月花図 【重要文化財】	天明7～8年 (1787～88)	絹本著色	三幅対	各93.0×32.3	MOA美術館	○	
29	勝川春章	見立江口の君図	寛政元～4年 (1789～92)頃	絹本著色	一幅	88.8×36.9	個人蔵	○	○
30	勝川春章	衝立二美人図	寛政元～4年 (1789～92)頃	絹本著色	一幅	49.2×59.6	個人蔵	○	
31	勝川春好	四世岩井半四郎の 人形遣い図	天明(1781～89)	紙本著色	一幅	97.0×38.0	(公財)摘水軒記念 文化振興財団		○
32	司馬江漢	唐美人図	天明～文化 (1781～1818)頃	絹本著色	一幅	93.2×32.5	個人蔵	○	○
33	窪俊満	萩の玉川二美人図	天明(1781～89) 後期頃	絹本著色	一幅	83.0×31.5	(公財)摘水軒記念 文化振興財団	○	○
34	北尾政演	花魁と禿図	天明(1781～89)頃	絹本著色	一幅	92.6×31.3	回向院	○	○
35	水野廬朝	夕涼み図	文化～文政 (1804～30)頃	絹本著色	一幅	92.6×33.3	(公財)摘水軒記念 文化振興財団	○	
36	鳥居清長	三代目瀬川菊之丞の 娘道成寺図	天明3年(1783)頃	絹本著色	一幅	102.4×40.4	(公財)摘水軒記念 文化振興財団		○
第4章 西川祐信と京・上方の美人画									
37	西川祐信	立姿美人図	元文(1736～41)	絹本著色	一幅	103.6×37.4	(公財)摘水軒記念 文化振興財団	○	○
38	月岡雪鼎	梅に美人図	安永元～7年 (1772～78)	絹本著色	一幅	87.5×32.5	(公財)摘水軒記念 文化振興財団	○	○
39	祇園井特	団扇持つ美人図	寛政～享和 (1789～1804)	絹本著色	一幅	116.4×36.4	個人蔵	○	○
第5章 喜多川歌麿と鳥文斎栄之 18世紀後半の好敵手									
40	喜多川歌麿	雪兎図	寛政(1789～1801) 後期頃	絹本著色	一幅	89.1×23.3	個人蔵	○	○
41	喜多川歌麿	隈取する童子と 美人図	享和(1801～04)頃	紙本著色	一幅	88.1×33.4	個人蔵		○
42	喜多川歌麿	嶋台持つ娘立姿図	文化(1804～18)初期	絹本著色	一幅	87.5×40.3	(公財)摘水軒記念 文化振興財団	○	
43	鳥文斎栄之	傾城図	寛政(1789～1801)	絹本著色	一幅	95.6×41.0	個人蔵	○	○
44	鳥文斎栄之	団扇持つ美人図	享和～文化 (1801～18)頃	絹本著色	一幅	95.2×30.5	個人蔵	○	○
第6章 葛飾北斎とその周辺 19世紀前半の美人画									
45	葛飾北斎	二美人図 【重要文化財】	享和(1801～04)頃	絹本著色	一幅	110.6×36.7	MOA美術館		○
46	葛飾北斎	詠歌美人図	文化7～文政2年 (1810～19)頃	紙本著色	一幅	87.6×29.6	個人蔵	○	
47	葛飾北斎	立姿美人図	文化7～文政2年 (1810～19)頃	絹本著色	一幅	108.0×40.5	個人蔵	○	○
48	葛飾北斎	団扇と美人図	文政3～天保4年 (1820～33)頃	絹本著色	一幅	74.0×32.4	個人蔵	○	○
49	蹄斎北馬	桜下遊女図	文化～文政 (1804～30)頃	絹本著色	一幅	89.0×29.5	(公財)摘水軒記念 文化振興財団	○	○
50	魚屋北溪	湯上り美人図	天保～嘉永 (1830～54)頃	絹本著色	一幅	116.0×51.2	個人蔵	○	○
51	北鼎如蓮	立姿美人図	文化～文政 (1804～30)頃	紙本著色	一幅	92.0×28.0	(公財)摘水軒記念 文化振興財団	○	○
52	葛飾辰女	朝顔美人図	文化～文政 (1804～30)頃	絹本著色	一幅	62.0×32.5	(公財)摘水軒記念 文化振興財団	○	○
53	抱亭五清	粧い美人図	文化～天保 (1804～44)頃	絹本著色	一幅	105.0×35.0	(公財)摘水軒記念 文化振興財団	○	○

No.	作家名	作品名	時代	材質技法	員数	寸法(cm)	所蔵	前期	後期
54	菊川英山	娘と風車を持つ童子図	文化(1804~18)	紙本著色	一幅	131.1×41.5	(公社)川崎・砂子の里資料館	○	○
55	菊川英山	歌妓立姿図	文化初年~天保(1804~44)頃	絹本著色	一幅	91.8×26.7	個人蔵	○	
56	溪斎英泉	柳下美人図	天保(1830~44)頃	絹本著色	一幅	84.2×35.3	個人蔵		○
57	溪斎英泉	桜下文詠む美人図	天保(1830~44)頃	絹本著色	一幅	87.3×28.6	(公財)摘水軒記念文化振興財団	○	○
第7章 歌川派王国の浮世絵師 豊春から芳年まで									
58	歌川豊春	花魁図	天明~寛政初期(1781~90年代)	絹本著色	一幅	30.7×47.4	(公財)摘水軒記念文化振興財団	○	
59	歌川豊春	遊女と禿図	寛政(1789~1801)	絹本著色	一幅	137.0×54.5	中外産業株式会社 原安三郎コレクション		○
60	歌川豊国	桜下太夫と禿図	寛政(1789~1801)	絹本著色	一幅	109.8×35.0	個人蔵	○	
61	歌川豊国	雪中の花魁図	寛政(1789~1801)	絹本著色	一幅	94.0×28.8	中外産業株式会社 原安三郎コレクション		○
62	歌川豊広	三味線を持つ芸者図	寛政(1789~1801)	絹本著色	一幅	82.0×16.7	(公社)川崎・砂子の里資料館		○
63	歌川豊広	土手の美人図	文化(1804~18)	絹本著色	一幅	89.0×33.5	中外産業株式会社 原安三郎コレクション	○	
64	歌川国貞	立姿美人図	文政(1818~30)後期	絹本著色	一幅	109.8×34.9	(公財)摘水軒記念文化振興財団	○	○
65	歌川国芳	三美人化粧之図	嘉永(1848~54)	絹本著色	一幅	136.3×86.7	(公財)摘水軒記念文化振興財団	○	○
66	歌川広重	命図	嘉永(1848~54)	絹本著色	一面	77.7×25.6	個人蔵	○	○
67	歌川広重	藤娘図	嘉永(1848~54)	絹本著色	一幅	109.4×33.3	個人蔵		○
68	歌川広重	雪中真崎の渡し図	安政(1854~60)中期	紙本著色	一幅	93.0×29.6	個人蔵	○	
69	月岡芳年	雪中常盤図	明治20年(1887)頃	絹本著色	一幅	147.3×65.7	(公財)摘水軒記念文化振興財団	○	○
第8章 めくるめく春画の名品 浮世絵なるものの本質、そして極み									
70		春画絵巻	寛文(1661~73)頃	紙本著色	一卷	33.0×349.5	足立区立郷土博物館	○	○
71	鳥居清信	春秋絵巻	正徳(1711~16)頃	絹本著色	二巻	上:33.2×451.7 下:33.1×445.3	個人蔵	○	○
72	宮川長春	秘戯図巻	享保(1716~36)前期	絹本著色	一卷	31.7×413.3	個人蔵	○	○
73	奥村政信	秘戯図巻	享保(1716~36)後期	紙本著色	一卷	25.5×511.2	個人蔵	○	○
74	西川祐信	男女遊興図	享保5~元文(1720~41)頃	紙本著色	一幅	53.9×85.7	個人蔵	○	○
75	歌川豊春	艶画十貳図	天明~寛政(1781~1801)頃	紙本著色	一卷	27.9×793.8	個人蔵	○	
76	歌川国貞	金瓶梅	天保12~弘化元年(1841~44)	絹本著色	二巻	上:29.2×472.4 下:29.2×463.5	個人蔵	○	○
77	葛飾北斎	閨中交歓図	文化7~10年(1810~13)	紙本著色	一幅	33.4×48.6	個人蔵	○	○
78	葛飾北斎	春愁図	文化末~文政前期(1810年代~20年代)	絹本著色	一幅	29.7×44.7	個人蔵	○	○
79	城義隣	蘭漢秘戯図	江戸時代後期	紙本著色	一冊	28.5×36.5ほか	個人蔵		○
80	葛飾北斎	浪千鳥	文政末~天保(1820年代~44)頃か	大判墨摺手彩色	10枚の内	各24.3×37.5	個人蔵	○	○
81	喜多川歌麿	歌満くら 第三図	天明8年(1788)	大判錦絵	12枚の内	24.6×38.0	個人蔵		○
82	喜多川歌麿	歌満くら 第八図	天明8年(1788)	大判錦絵	12枚の内	26.6×38.1	個人蔵	○	

・前期:4月4日(土)~26日(日)、後期:4月28日(火)~5月17日(日)

特別展

真珠—海からの贈りもの Pearls – Gift from the Sea

会期＝令和2(2020)年6月2日(火)～9月22日(火・祝)

※新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当初の日程を変更して開催した

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミューゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

特別協力＝穂葉アンティークジュウリー美術館、ミキモト真珠島 真珠博物館

後援＝一般社団法人日本ジュエリー協会

協力＝一般社団法人日本真珠振興会

企画協力＝アートプランニング レイ

世界最古の宝石のひとつである真珠。貝をあけ、そのなかから取り出される真珠は、カットや研磨など人間の手が加えられる前から美しい輝きを放ち、古くから人々を魅了してきた。真珠があしらわれた宝飾品は、富や権力の象徴でもあり、王侯貴族はこぞってそれらを身につけたのである。

本展では、古代から近代に至るまでに製作された真珠の装身具を紹介し、人々を引き付けてやまない真珠の魅力を紹介するとともに、それらがあしらわれた装身具の洗練されたデザインや、職人による精緻な細工まで、様々な角度から楽しんでいただくことを意図したものであった。

第1会場(地下1階展示室)では、古代オリエント世界で採取された真珠があしらわれた装身具からはじまり、その後、コロンブスによるアメリカ大陸発見に伴い、それまで以上に真珠を手にするようになったヨーロッパ各国で製作された装身具のほか、天然真珠の産地や種類を示すマップや真珠貝など、あわせて85件の作品を展示した。一方、第2会場(2階展示室)では、日本における真珠の装身具とその歴史について30件の作品や資料により紹介した。真珠が装身具として用いられることがほとんどなかった日本であるが、1893(明治26)年に御木本幸吉(1858-1954)が世界で初めて真珠の養殖に成功すると、養殖真珠産業が興き、真珠が人々を飾る装身具に用いられるようになる。本展では御木本が創業した御木本真珠店が明治から昭和にかけて製作した真珠の装身具の数々を展示したほか、真珠の養殖のしくみや方法についても、写真や映像、養殖に実際に用いられる器具などを通して紹介した。

本展の会期は、本来令和2(2020)年5月30日(土)から7月26日(日)であったが、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が発令されていたことに伴い、開幕日を遅らせることになった。しかし、ご所蔵者をはじめとする関係各所のご協力により、会期を延長して実施した。

人数を制限するなど対策をしたうえで、穂葉昭江館長(穂葉アンティークジュウリー美術館)による夜のスペシャル・ギャラリートークや、松月清郎館長(ミキモト真珠島 真珠博物館)による講演会(リモートでの実施)のほか、真珠講座やワークショップ、ミュージアムコンサートなどのイベントを開催した。



出品目録

No.	作品名	作者	時代	製作地	材質	所蔵者
序章 古代の真珠装身具						
1	真珠金粒付き耳飾り		前3世紀-後3世紀	イラン	パール、ゴールド	個人蔵
2	真珠金粒付き耳飾り		前3世紀-後3世紀	イラン	パール、ゴールド	個人蔵
3	真珠金製耳飾り		前3世紀-後3世紀	イラン	パール、ゴールド	個人蔵
*4	山猫の耳飾り		前2-後1世紀	イタリア	パール、ガーネット、エメラルド、ゴールド	平山郁夫シルクロード美術館
5	真珠付き金製耳飾り		前1-後1世紀	イタリア	パール、ゴールド	ミキモト真珠島真珠博物館
6	真珠付き金製耳飾り		1-3世紀	シリア	パール、ゴールド	古代オリエント博物館
*7	垂飾		1-3世紀	パキスタン	パール、ゴールド	平山郁夫シルクロード美術館
*8	垂飾		1-3世紀	パキスタン	パール、緑石、ゴールド	平山郁夫シルクロード美術館
*9	首飾り		1-3世紀	パキスタン	パール、ゴールド	平山郁夫シルクロード美術館
10	首飾り「ミルト」		帝政ローマ(紀元前後)	イタリア	パール、金箔、緑石(スマラグダス)	ミキモト真珠島真珠博物館
11	耳飾り「イルカ」		3世紀	パキスタン	パール、珊瑚(コーラル)、ゴールド	ミキモト真珠島真珠博物館
1章 ルネサンスからロココへ						
12	パール&ホワイエナメルペンダント「クロス」	ロバート・フィリップス	19世紀中期	イギリス	パール、ホワイエナメル、ターコイズ、ゴールド	ミキモト真珠島真珠博物館
13	パール&ホワイエナメルペンダント「ライオン」		1600年頃	スペインか	パール、ホワイエナメル、ルビー、ダイヤモンド、ゴールド	ミキモト真珠島真珠博物館
14	モーニングスライド「ハート」		1700年頃	イギリス	ハーフパール、クリスタル、遺髪、エナメル、ゴールド	ミキモト真珠島真珠博物館
15	バロックパールブローチ「双頭のアザラシ」		1720年頃	イギリスか	パール、エメラルド、ルビー、ダイヤモンド、ゴールド	ミキモト真珠島真珠博物館
16	ブリストーパールイヤリング		1760年頃	イギリス	ブリストーパール、ゴールド	穂葉アンティークジュウリー美術館
17	ブリストーパール&マルカジットブローチ		18世紀後期	イギリス	ブリストーパール、マルカジット、シルバー	穂葉アンティークジュウリー美術館
18	シードパール&ダイヤモンドネックレス		18世紀後期	イギリス	シードパール、ダイヤモンド、シルバー、ゴールド	穂葉アンティークジュウリー美術館
19	バロックパールペンダント		19世紀初期	イギリス	バロックパール、エメラルド、ルビー、サファイア、ゴールド	穂葉アンティークジュウリー美術館
20	パール、パープルエナメル&ダイヤモンドシャトルレース		1775年頃	イギリス	パール、ハーフパール、パープルエナメル、ダイヤモンド	ミキモト真珠島真珠博物館
2章 ジュエリーが花開いた19世紀の真珠						
21	シードパールミニアチュールブローチ		19世紀初期	イギリス	シードパール、ブルー&ホワイエナメル、ゴールド	穂葉アンティークジュウリー美術館
22	シードパールブローチ		19世紀初期	イギリス	シードパール、シロチョウ貝	穂葉アンティークジュウリー美術館
23	シードパールブローチ&イヤリングセット		19世紀初期	イギリス	シードパール、シロチョウ貝、ゴールド	穂葉アンティークジュウリー美術館

No.	作品名	作者	時代	製作地	材質	所蔵者
24	シードパールティアラ		19世紀初期	イギリス	シードパール、 シロチョウ貝、ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
25	シードパールネックレス& イヤリングセット		19世紀初期	イギリス	シードパール、 シロチョウ貝、ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
26	シードパールティアラ		1862年	イギリス	シードパール、 シロチョウ貝、ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
27	ハーフパール& ターコイズデミパリュール		19世紀初期	イギリス	ハーフパール、ターコイズ、 ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
28	ハーフパール、 ルビー&ゴールドリング		19世紀初期	イギリス	ハーフパール、ルビー、 ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
29	ハーフパール、 エメラルド&ゴールドリング		19世紀初期	イギリス	ハーフパール、 エメラルド、ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
30	ハーフパール、 ダイヤモンド& ゴールドネックレス		19世紀中期	イギリス	ハーフパール、 ダイヤモンド、ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
31	ハーフパール& ゴールドブローチ	カルロ・ ジュリアーノ	1880年頃	イギリス	ハーフパール、ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
32	ハーフパール、 ダイヤモンド& ゴールドブローチ 「グッドラック」		19世紀中期	イギリス	ハーフパール、 ダイヤモンド、ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
33	ハーフパール& ゴールドバングル		19世紀後期	イギリス	ハーフパール、ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
34	ハーフパール、 シードパール& ミニアチュールプレスレット		19世紀初期	イギリス	ハーフパール、シードパール、 アイボリーミニアチュール、 シルバー、ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
35	ハーフパール、ヘアー& ゴールドペンダント		1813年	イギリス	ハーフパール、遺髪、 オパールリンググラス、 ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
36	ハーフパール、 ヘアー&ゴールドブローチ 「スネーク」		1830年	イギリス	パール、ルビー、 ブルー&ホワイトエナメル、 遺髪、ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
37	ハーフパール、 オニキス&ゴールドリング		1831年	イギリス	ハーフパール、オニキス、 遺髪、ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
38	ハーフパール、 ヘアー&ゴールドブローチ		1858年	イギリス	ハーフパール、遺髪、 ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
39	パール、ダイヤモンド& ブルーエナメルブローチ		19世紀中期	イギリス	パール、ブルーエナメル、 ダイヤモンド、ブロンズ、ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
40	ハーフパール& エナメルミニアチュールブローチ 「ノースランバーランド夫人」		1830年頃	イギリス	ハーフパール、エナメル、 ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
41	パール、ルビー&エナメル ミニアチュールセット (ペンダント、イヤリング)		1868年	フランス	パール、エナメル、ルビー、 エメラルド、ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
42	パール、 エナメルミニアチュール& カラーゴールドペンダント	ティファニー 商会	19世紀中期	フランス	パール、エナメル、 ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
43	ハーフパール& ミニアチュールセット (ブローチ、カフス) 「キュービッド」		19世紀後期	フランス	ハーフパール、エナメル、 ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
44	ハーフパール& リモージュエナメルブローチ		1870年頃	フランス	ハーフパール、エナメル、 ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
45	シードパール& ミニアチュールネックレス 「キュービッド」		19世紀	フランス	シードパール、シロチョウ貝、 エナメル、ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
46	パール、エナメル、 サファイア&ダイヤモンド ネックレス	カルロ・ ジュリアーノ	1880年頃	イギリス	パール、エナメル、 サファイア、ダイヤモンド、 ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館

No.	作品名	作者	時代	製作地	材質	所蔵者
47	パール&ラピスラズリ カメオペンダント		18世紀中期	イギリス	パール、ラピスラズリ、ルビー、 エメラルド、シルバー	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
48	ハーフパール、 アメシストカメオ& ゴールドバングル		19世紀中期	イギリス	ハーフパール、 アメシストカメオ、 ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
49	ハーフパール& ハードストーン カメオブローチ		1860年頃	フランス	パール、ダイヤモンド、 ハードストーンカメオ、 ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
50	パール&ハードストーン カメオペンダント兼 ブローチ「エカテリーナ」		19世紀中期	イタリア	パール、 ハードストーンカメオ、 ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
51	パール、コーラルカメオ& ゴールドブローチ		19世紀後期	イタリア	パール、コーラル(珊瑚)、 ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
52	ハーフパール、モスアゲート& ゴールドブローチ		19世紀初期	イギリス	ハーフパール、 モスアゲート、ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
53	パール& カラーゴールドイヤリング		19世紀初期	イギリス	パール、ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
54	シードパール& カラーゴールドブローチ		1840-50年頃	イギリス	パール、ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
55	ハーフパール、アメシスト& カラーゴールドシール		19世紀中期	イギリス	ハーフパール、アメシスト、 ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
56	ハーフパール、 ブルーエナメル&ゴールド ヴィネグレット		19世紀初期	イギリス	パール、エナメル、 ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
57	パール、エメラルド& ゴールドプレスレット		1850年頃	イギリス	パール、エメラルド、 ダイヤモンド、ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
58	ハーフパール& カラーゴールドスウィート (ネックレス、ブローチ、イヤリング)		19世紀中期	フランス	ハーフパール、ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
59	パール、ブルーエナメル &ゴールドセット		1870年頃	イギリス	パール、ブルーエナメル、 ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
60	パール、ブルーエナメル& ゴールドセット		19世紀中期	イギリス	パール、エナメル、 ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
61	パール、サファイア& ゴールドトレンブランブローチ 「鳩」		19世紀中期	フランス	パール、サファイア、 ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
62	ハーフパール、 モザイク&ゴールドブローチ		19世紀中期	イギリス	パール、モザイクガラス、 ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
63	スコティッシュブローチ 「セントアンドリュース クロス」		1875年頃	スコット ランド	パール、コーネリアン、 モスアゲート、カルセドニー、 ブラッドストーン、ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
64	ハーフパール、 アゲート&ゴールド ペンダント		19世紀中期	イギリス	パール、アゲート、 ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
65	パール、ラピスラズリ& ゴールドセット (ブローチ、バングル)	カルロ・ ジュリアーノ	19世紀中期	イギリス	パール、ラピスラズリ、 ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
66	パール、エメラルド、 シトリン& ゴールドネックレス	カステラーニ 工房	1861年頃	イタリア	パール、エメラルド、 シトリン、ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
67	パール&ゴールド ペンダント	ニコラ・ マルシェシーニ	1870年頃	イタリア	パール、ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
68	パール、ミニアチュール& ゴールドペンダント兼ブローチ	ジョルジュ・ フーケ	1895-98年	フランス	パール、プリカジュールエナメル、 ミニアチュール、ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
69	パール、ダイヤモンド& ゴールドブローチ「鷺」		19世紀後期	フランス	パール、ダイヤモンド、 ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館
70	パール、ブルーエナメル& ゴールドネックレス		1865-70年頃	イギリス	パール、ダイヤモンド、 ブルーエナメル、ゴールド	亀葉アンティーク ジュウリー美術館

No.	作品名	作者	時代	製作地	材質	所蔵者
71	パール、ガーネット& ダイヤモンドペンダント		1860年頃	イギリス	パール、ダイヤモンド、 ガーネット、シルバー、ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
72	オーストリアン& ハンガリアンネックレス		19世紀後期	オーストリア	パール、ルビー、ダイヤモンド、 サファイア、エメラルド、シルバー	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
3章 19世紀末から20世紀初頭 ひろがる真珠の世界						
73	スコティッシュパール、 ダイヤモンド& ゴールドペンダント		19世紀末	イギリス	パール、ダイヤモンド、 ゴールド	個人蔵
74	パール&マット エナメルブローチ		1900年頃	フランス	パール、エナメル、 ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
75	パール&マット エナメルネックレス		1900年頃	フランス	パール、エナメル、 ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
76	パール&ゴールド ペンダントネックレス	ウォルファース 兄弟商会	1900年頃	ベルギー	パール、ターコイズ、 ブラックオパール、 ダイヤモンド、 ピンク&ブルーエナメル	ミキモト真珠島 真珠博物館
77	パール、 ダイヤモンド& ミニアチュールソトワール		1900年頃	フランス	パール、ダイヤモンド、 ミニアチュール、プラチナ	ミキモト真珠島 真珠博物館
78	ナチュラルパール ネックレス		20世紀初期	イギリス	パール、ゴールド	穂葉アンティーク ジュウリー美術館
79	パール&オニキス ペンダントウォッチ	ラクローシュ 兄弟商会	1925年頃	フランス	パール、オニキス、 アメシスト	ミキモト真珠島 真珠博物館
4章 代表的な真珠貝と真珠						
80	アコヤ貝					ミキモト真珠島 真珠博物館
81	アコヤ貝の養殖真珠					ミキモト真珠島 真珠博物館
82	シロチョウ貝					ミキモト真珠島 真珠博物館
83	シロチョウ貝の 養殖真珠					ミキモト真珠島 真珠博物館
84	クロチョウ貝					ミキモト真珠島 真珠博物館
85	クロチョウ貝の 養殖真珠					ミキモト真珠島 真珠博物館
5章 いにしえの日本の真珠						
86	縄文真珠 (別名:トリハマ・パール)		縄文時代 前期	鳥浜貝塚 出土		福井県立 若狭歴史博物館
87	大村湾の天然真珠		1783 (天明3)年			国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所
88	大村純保御喰出し		1754 (宝暦4)年			国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所
89	太守様(大村純鎮) 御喰出し		1782 (天明2)年			国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所
90	夜光の名珠		江戸時代			国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所
6章 真珠王御木本幸吉 日本の真珠装身具の黎明						
91	帯留 「桜」	御木本真珠店	1908-12 (明治41-45、 大正元)年		パール、ダイヤモンド、 プラチナ、ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
92	帯留 「六弁の花」	御木本真珠店	1913-17 (大正2-6)年		パール、ハーフパール、 ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館

No.	作品名	作者	時代	製作地	材質	所蔵者
93	帯留 「藤の花」	御木本真珠店	1923 (大正12)年頃		パール、ハーフパール、 ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
94	帯留	御木本真珠店	1924-26 (大正13-15、 昭和元)年		ハーフパール、 シードパール、 ダイヤモンド、ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
95	帯留 「構成派」	ミキモト 装身具	図案1927 (昭和2)年、 製作1993 (平成5)年		パール、プラチナ、 ダイヤモンド、オニキス、 ラピスラズリ	ミキモト真珠島 真珠博物館
96	帯留 「流水」	御木本真珠店	1927-30 (昭和2-5)年		パール、ハーフパール、 ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
97	帯留 「葡萄」	御木本真珠店	1930-35 (昭和5-10) 年		パール、ダイヤモンド、 プラチナ	ミキモト真珠島 真珠博物館
98	帯留 「リボン」	御木本真珠店	1933 (昭和8)年 頃		パール、ホワイトゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
99	帯留 「花車」	御木本真珠店	1935 (昭和10)年 頃		パール、ダイヤモンド、 オニキス、コーラル(珊瑚)、 プラチナ	ミキモト真珠島 真珠博物館
100	ブローチ 「ヤドリギ」	ミキモト 装身具	図案1909 (明治42)年、 製作1985 (昭和60)年		パール、ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
101	ブローチ 「楓」	御木本真珠店	1923 (大正12)年 頃		パール、シードパール、 ハーフパール、ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
102	ネックレス 「菊花」	御木本真珠店	1910 (明治43)年 以前		ハーフパール、ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
103	ペンダント 「シロツメグサ」	ミキモト 装身具	図案1910 (明治43)年、 製作1993 (平成5)年		パール、ダイヤモンド、 ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
104	ネックレス 「ガーランド」	ミキモト 装身具	図案1919 (大正8)年、 製作1985 (昭和60)年		パール、プラチナ	ミキモト真珠島 真珠博物館
105	櫛・笄	御木本真珠店	1918-23 (大正7-12) 年		シードパール、白鼈甲、 プラチナ	ミキモト真珠島 真珠博物館
106	髪飾り	御木本真珠店	1919 (大正8)年 頃		ハーフパール、ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
107	髪飾り「牡丹」	御木本真珠店 か	1925 (大正14)年 頃		パール、黒鼈甲	ミキモト真珠島 真珠博物館
108	髪飾り	御木本真珠店 か	1927 (昭和2)年 頃		パール、黒鼈甲	ミキモト真珠島 真珠博物館
109	バングル	御木本真珠店	1913 (大正2)年		ハーフパール、ダイヤモンド、 プラチナ、ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
110	メンズ・ドレスセット	御木本真珠店	1935 (昭和10)年 以前		パール、シロチョウ貝、ホ ワイトゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
111	スカーフピン	御木本真珠店	1915 (大正4)年 頃		ハーフパール、ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館

No.	作品名	作者	時代	製作地	材質	所蔵者
112	カフリンクス	御木本真珠店	1917-18 (大正6-7)年		ハーフパール、ゴールド	ミキモト真珠島 真珠博物館
113	御木本真珠店 商品カタログ「真珠」		明治時代末 より刊行			ミキモト真珠島 真珠博物館
7章 人の手から生まれた真珠 養殖真珠						
114	仏像真珠		製作年不詳	中国		ミキモト真珠島 真珠博物館
115	真珠養殖の道具					ミキモト真珠島 真珠博物館
116	養殖真珠の色とかたち					ミキモト真珠島 真珠博物館

・*印の作品の展示期間:6/16～会期末

特別展

後藤克芳 ニューヨークだより “一瞬一瞬をアートする”

Goto Katsuyoshi : A Pop Artist in New York

—Turning Every Moment into Art

会期＝令和2(2020)年10月3日(土)～11月23日(月・祝)

※新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当初の日程を変更して開催した

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミューゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

特別協力＝米沢市上杉博物館

後藤克芳(1936-2000)は、ニューヨークを舞台に、現代美術の新しい流れとなったポップアートに取り組み、活躍した作家である。主に木を用い、スーパーリアリズムの手法で、驚くべき完成度の高さをみる半立体作品を制作した。自然豊かな山形県米沢市に生まれ育ち、武蔵野美術学校の西洋画科を卒業後、数年で渡米、永住権を獲得し、終生制作に励んだ。ニューヨークで刺激に満ちた生活を送った後藤は「ニューヨークだより」を山形新聞などへ連載していた。その内容やポップでキッチュな作風とは裏腹に、非常に几帳面な仕上がりをみせる作品は、いつまでも飽きることがない。

今回、多くを所蔵する米沢市上杉博物館の全面協力により、後藤の没後、遺族によって郷里へもたらされた後藤の作品群など、90件を紹介することができた。

第1会場(2階展示室)では、後藤の幼少期から学生時代の友人であり、後に国内外で活躍する赤瀬川源平や篠原有司男らアーティストの卵たちとの親交を取り上げた。また、64年のニューヨークへの旅立ち、そして80年代にかけてアルバイト等で生計を立てながら制作を続けていた時代の作品を紹介した。

一方、第2会場(地下1階展示室)では、1990年代以降、50代を過ぎた後藤の作品を展示した。日常にある身近なものを題材に、思いがけない組み合わせやユーモアを交えた作品は、若い頃から一貫して丁寧に作りこまれている。それら90年代の多くの作品を、前期と後期で展示替えをしながら紹介した。

本展の会期は、本来令和2(2020)年8月8日(土)から9月22日(火・祝)であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、真珠展の会期延長に伴い開幕日を遅らせることになった。会期中の関連イベントは、米沢市上杉博物館の花田美穂氏による記念講演会「後藤克芳と米沢」をはじめ、学芸員による特別講座「後藤克芳の“ニューヨークだより”」や色紙でモビールを制作するワークショップ、及びギャラリートークなどを開催した。とりわけ記念講演会では、山形時代やニューヨーク時代の後藤を知る方々が来訪され、講師を交えて在りし日の思い出を語る、充実した機会となった。



出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	法量 (cm)	所蔵	章	前期	後期
1	青の静物 Blue Still Life	1959	油彩・ カンヴァス	55.3×47.8	米沢市上杉博物館 (鈴木晋コレクション)	1	○	○
2	高橋与一先生像 Dr. Takahashi Yoichi	1962	油彩・ カンヴァス	53.0×45.5	米沢市上杉博物館	1	○	○
3	山湖の秋 Fall Mountain Lake	1962	油彩・ カンヴァス	32.0×41.0	個人	1	○	○
4	梨 Pears	1964	油彩・ カンヴァス	33.4×24.0	米沢市上杉博物館	1	○	○
5	untitled	1970	油彩・ カンヴァス	27.0×21.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	2	○	○
6	UMBRELLA	-1972	油彩・ カンヴァス	156.0×48.0	個人	2	○	○
7	untitled	1975	油彩・ カンヴァス	66.0×72.0	個人	2	○	○
8	My hands are dirty	1975	油彩・ カンヴァス	78.0×63.0	米沢市上杉博物館	2	○	○
9	COLORADO	1977-79	油彩・木	72.0×50.5×38.0	米沢市上杉博物館	2	○	○
10	MAIL BOX	1977	アクリル・ 木・ブリキ	120.0×96.0×37.0	米沢市上杉博物館	2	○	○
11	untitled	1978	油彩・木	61.0×46.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	2	○	○
12	untitled	1978	油彩・ カンヴァス・木	86.0×86.7	米沢市上杉博物館	2	○	○
13	WILDLIFE CONSERVATION	1979	アクリル・木・ たこ糸	45.0×70.0	米沢市上杉博物館	2	○	○
14	Duco CEMENT	1980	アクリル・木	107.0×60.0×23.0	米沢市上杉博物館	2	○	○
15	A	1981	油彩・木	108.0×65.0×7.5	米沢市上杉博物館	2	○	○
16	My hand is dirty	1982	油彩・ カンヴァス・木	96.0×120.0×12.5	米沢市上杉博物館	2	○	○
17	HEART	1985	アクリル・ カンヴァス・木	145.0×105.0×26.5	米沢市上杉博物館	2	○	○
18	SOUVENIR	1982	油彩・ カンヴァス・木	92.0×42.0×21.5	米沢市上杉博物館	2	○	○
19	NAIL BOX	1983	アクリル・木	81.5×56.0×36.5	米沢市上杉博物館	2	○	○
20	untitled	1984	油彩・ カンヴァス・木	112.0×86.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	2	○	○
21	Tennessee Valley	1984	油彩・ アクリル・木	57.5×68.0×20.5	米沢市上杉博物館	2	○	○
22	TO MAN RAY	1984	油彩・木	113.0×66.0×15.0	米沢市上杉博物館	2	○	○
23	19	1986	油彩・ カンヴァス・木	92.5×65.0×9.0	米沢市上杉博物館	2	○	○
24	MEMORY(T)	1986	アクリル・ エナメル・木	105.0×33.0×22.5	米沢市上杉博物館	2	○	○
25	MEMORY	1986	アクリル・木	126.0×72.0×18.0	米沢市上杉博物館	2	○	○
26	SUMMER 1987	1987	エナメル・木	14.0×125.0	米沢市上杉博物館	2 *B1F	○	○
27	NY SUNDAY	1987	アクリル・ 油彩・木	94.0×79.0×12.5	米沢市上杉博物館	2 *B1F	○	○
28	LOVE LOCK	1989	油彩・木	85.0×60.0×20.5	米沢市上杉博物館	2	○	○
29	untitled (BANANA)	1980年代か	油彩・木	111.0×60.0×20.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	2	○	○

No.	作品名	制作年	技法・材質	法量 (cm)	所蔵	章	前期	後期
30	SUMMER 1991	1991	油彩・木	157.5×76.5×7.5	個人(米沢市上杉博物館寄託)	3	○	
31	E	1991	油彩・木	122.0×97.0×17.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	3	○	○
32	STEEL CITY	1991	油彩・木	91.5×91.5×9.0	米沢市上杉博物館	3	○	
33	untitled	1991	アクリル・木	121.0×57.0	米沢市上杉博物館	4	○	○
34	SEVEN	1991	アクリル・ コラージュ・木	106.0×49.0×10.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	3		○
35	BUTTON	1991	油彩・木	84.0×84.0×2.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	3		○
36	SOFT BABY	1991	油彩・木	41.0×41.0×22.0	米沢市上杉博物館	3	○	○
37	YOKO	1991	油彩・木	91.0×57.0	米沢市上杉博物館	3	○	○
38	untitled	1992	油彩・木	53.0×66.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	3	○	○
39	WHISTLE	1992	油彩・木	122.0×97.5×18.0	米沢市上杉博物館	3	○	○
40	GARDEN SCISSORS	1992	油彩・木	96.5×100.0	米沢市上杉博物館	3	○	
41	KNIFE	1992	アクリル・木	100.0×117.0×11.0	米沢市上杉博物館	3	○	○
42	untitled	1992	アクリル・ 木・ブリキ	109.0×103.0	米沢市上杉博物館	3	○	○
43	Summer	1992	アクリル・木	109.0×109.0×1.5	米沢市上杉博物館	3	○	
44	LOVE	1993	油彩・板	42.0×32.0	個人	3	○	
45	BIG BOOK MATCH	1993	エナメル・ アクリル・木	91.0×69.0×12.0	米沢市上杉博物館	3	○	
46	MY TOOL (B)	1993	油彩・木	135.0×52.0×10.0	米沢市上杉博物館	3		○
47	NYC	1993	アクリル・木	112.0×82.0×9.0	米沢市上杉博物館	3		○
48	untitled	1993	アクリル・木	97.5×74.0	米沢市上杉博物館	3		○
49	NOSE	1993	油彩・木	64.0×49.0×15.0	米沢市上杉博物館	3	○	
50	PLATE	1993	油彩・木	81.0×105.0×18.0	米沢市上杉博物館	3		○
51	Summer 1993	1993	油彩・木	58.0×48.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	3		○
52	CUPID PLAN	1993	油彩・木	31.0×20.0×13.0	米沢市上杉博物館	4	○	○
53	NY CAT	1994	油彩・木	57.0×36.0×36.0	米沢市上杉博物館	3		○
54	MANHATTAN NIGHT	1994	油彩・木	55.0×41.0×7.5	個人(米沢市上杉博物館寄託)	4		○
55	GOLDEN STAGE	1994	油彩・木	44.0×44.0×22.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	4		○
56	Summer 1994	1994	油彩・木	56.0×71.0×5.0	米沢市上杉博物館	4	○	
57	AN EYE	1994	油彩・木	126.0×80.0×10.0	米沢市上杉博物館	3	○	
58	CARD	1994	油彩・木	122.0×96.0×14.0	米沢市上杉博物館	3	○	
59	BOSTON	1994	油彩・木	97.0×97.0×11.0	米沢市上杉博物館	3		○
60	MILK BOTTLE	1994	油彩・木	23.0×94.0×43.0	米沢市上杉博物館	4	○	○
61	MY TOOL (C)	1994	エナメル・木	126.0×49.0×10.0	米沢市上杉博物館	3		○
62	SPRING	1994	油彩・木	77.0×17.0×17.0	米沢市上杉博物館	3	○	
63	untitled	1995	アクリル・木	25.0×34.0×10.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	3	○	○
64	untitled	1994	エナメル・木	61.0×61.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	3	○	
65	PINK BARBELL	1995	エナメル・木	30.0×77.0×30.0	米沢市上杉博物館	4	○	○
66	PIG	1995	油彩・木	52.0×61.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	3	○	
67	SUMMER	1994	エナメル・木	97.0×61.0×12.5	米沢市上杉博物館	3	○	
68	SUMMER 1995	1995	アクリル・木	66.0×90.0	米沢市上杉博物館	3		○
69	untitled	1995	アクリル・木	61.0×61.0×7.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	3		○
70	CLAM	1995	油彩・木	35.0×44.0×12.0	米沢市上杉博物館	3		○
71	December 1995	1996	アクリル・木	89.5×89.5	米沢市上杉博物館	5	○	
72	GIGI	1996	油彩・木	177.5×125.0×7.0	米沢市上杉博物館	5	○	

No.	作品名	制作年	技法・材質	法量 (cm)	所蔵	章	前期	後期
73	WINDOW	1997	油彩・木	173.0×91.5	米沢市上杉博物館	5		○
74	Memory	1997	アクリル・木	91.0×92.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	5		○
75	Summer 1997	1997	油彩・木	47.0×47.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	5	○	○
76	Memory of Milk Bottle	1997	アクリル・木	65.0×63.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	5	○	○
77	Diary 1997	1997	油彩・木	91.5×91.5	個人(米沢市上杉博物館寄託)	5		○
78	DIARY MAY 1998	1998	エナメル・油彩・木	82.0×56.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	4	○	
79	untitled	1998	油彩・カンヴァス・木	108.0×108.0	米沢市上杉博物館	3	○	
80	untitled	1998	油彩・木	86.5×122.0	米沢市上杉博物館	3		○
81	TOOL No.6	1999	油彩・木	84.0×79.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	3	○	
82	Winter 1999	1999	アクリル・油彩・木	95.5×95.5	米沢市上杉博物館	5	○	
83	untitled	1999	アクリル・油彩・木	53.5×92.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	3		○
84	KIKI	1999	油彩・木	42.0×89.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	5	○	○
85	untitled	制作年未詳	アクリル・木	64.0×23.0×23.0	米沢市上杉博物館	2	○	○
86	Saran Wrap	制作年未詳	アクリル・木	28.0×141.0×18.0	米沢市上杉博物館	2	○	○
87	untitled	制作年未詳	アクリル・木	102.0×66.0	個人(米沢市上杉博物館寄託)	2	○	○
88	河原温 《SEP 4 1972- NOV 7 1972》 I Got Up シリーズ (1968-1979)より	1972	葉書	65枚	個人(米沢市上杉博物館寄託)	EX	○	○
89	アルバム				米沢市上杉博物館	EX	○	○
90	周辺資料				米沢市上杉博物館	EX	○	○

・前期:10月3日(土)～10月25日(日)、後期:10月27日(火)～11月23日(月・祝)

特別展

舟越 桂 私の中にある泉

Funakoshi Katsura "Exploring My Inner Fountain"

会期＝令和2(2020)年12月5日(土)～令和3(2021)年1月31日(日)

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミューゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

特別協力＝西村画廊

現代日本を代表する彫刻家、舟越桂(1951-)。東京藝術大学大学院在学中に函館のトラピスト修道院から聖母子像制作の依頼を受けたことが、舟越が本格的に木彫での人物像の制作を開始する契機となった。こうして、1980年代にはじまる楠の木彫彩色の人物像は、1990年代前後から異形化が試みられるようになり、今日に至るまで、作家は新たな表現領域を切り拓いてきた。

本展では、1980年代から今日までの代表的な彫刻作品にくわえ、ドローイング、版画、何かを思うたびに書き留められるメモ、自作のおもちゃや小物など合わせて84件の作品から構成された。第1会場(地下1階展示室)では、逗子カトリック教会からの依頼で制作した聖像の試作《聖母子像のための試作》(1979年頃)や《妻の肖像》(1979-80年)といった初期の作品からはじまり、およそ2000年までに制作された人物像やドローイングを展示した。また、第2会場(2階展示室)では、2000年代から2020年最新作までの、作家自身は「心象人物」とよぶ異形化した人物像やスフィンクスシリーズの彫刻およびドローイングのほか、作家アトリエの再現コーナーや、作家が家族のためにつくったおもちゃなどを展示した。一貫して人間の姿を表すことにこだわり、「自分の中の水の底に潜ってみるしかない」と、創造にあたってまず自分自身と向き合う姿勢をとり続けてきた舟越であるが、こうした作品をつぶさに見ていくことで、作品を生み出す作家自身の内なる源泉の姿そのものを探ることを意図した。

イベントは、作家でクリエイターでもある、いとうせいこう氏とのスペシャル対談や、インタビューなどは映像におさめ、上映または美術館公式YouTubeからの配信としたほか、展示室で作品を鑑賞しながら、作家が選曲したレコードとCDを聴くことができるコンサートなどを実施した。



出品目録

作家名	作品名	制作年	サイズ (cm)	素材・技法	所蔵	Cat. no.
1章 私はあゆむ、私はつくりだす						
舟越桂	午後の遺跡No.2	1978	48.5×52.0×26.5	楠に彩色	作家蔵	1
舟越桂	聖母子像のための試作	1979頃	約41.0× 16.0×10.0 (台座10.0× 12.0×12.0)	石膏	作家蔵	2
舟越桂	妻の肖像	1979-80	72.0×40.5×25.5	楠に彩色	作家蔵	3
舟越桂	中野の肖像	1981	71.5×37.5×31.5	楠に彩色	宗教法人 長泉院附属 現代彫刻 美術館	4
舟越桂	マスク	1982	22.5×17.0×13.5	楠、大理石	作家蔵	5
舟越桂	白い歌をきいた	1984	77.0×42.0×27.0	楠に彩色、大理石	宗教法人 長泉院附属 現代彫刻 美術館	6
舟越桂	夏のシャワー	1985	77.2×52.0×33.5	楠に彩色、大理石、 眼鏡	世田谷 美術館	8
舟越桂	消えない水滴	1986	80.0×52.5×26.0	楠に彩色、大理石	兵庫県立 美術館	9
舟越桂	砂と街と	1986	81.0×56.5×36.0	楠に彩色、大理石	個人蔵	10
舟越桂	冬の本	1988	76.0×36.0×24.0	楠に彩色、大理石	作家蔵	11
舟越桂	教会とカフェ	1988	86.0×55.0×31.0	楠に彩色、大理石	個人蔵	12
舟越桂	妻の肖像	1976	54.5×39.5	紙に鉛筆	作家蔵	21
舟越桂	「ハロルド・J・ラスキ 1949」の ための習作	1980	39.5×30.0	紙に鉛筆	作家蔵	22
舟越桂	輪ゴム	1981頃	9.5×8.2	紙に鉛筆	作家蔵	23
舟越桂	「砂と街と」のためのドローイング	1986	100.5×90.0	紙に鉛筆	作家蔵	24
舟越桂	三つの顔	1998	55.5×90.5	紙に鉛筆	作家蔵	27
舟越桂	「時間の地図」のための ドローイング	1999	97.0×90.0	紙に鉛筆	作家蔵	28
2章 私は存在する						
舟越桂	森へ行く日	1984	79.0×49.0×24.0	楠に彩色、大理石、 ゴム・チューブ	東京国立 近代美術館	7
舟越桂	遅い振り子	1992	91.0×58.2×44.2	楠に彩色、大理石、鉄	東京都 現代美術館	13
舟越桂	山を包む私	2000	96.0×58.0×37.0	楠に彩色、大理石	個人蔵	14
舟越桂	「遅い振り子」のための ドローイング	1992	97.3×86.1	紙に鉛筆	個人蔵	25
舟越桂	「雪の上の影」のための ドローイング	2002	115.5×90.3	紙に鉛筆	作家蔵	33
舟越桂	無題(未完)	1990年代 後半— 2002年頃	197.0×57.5	紙に木炭	作家蔵	32
3章 私の中に私はみつける						
舟越桂	水に映る月蝕	2003	90.0×55.0×47.0	楠に彩色、大理石	作家蔵	15
舟越桂	言葉をつかむ手	2004	98.0×62.0×42.0	楠に彩色、大理石	西村画廊	16
舟越桂	戦争をみるスフィンクスⅡ	2006	97.0×57.5×34.0	楠に彩色、大理石、革	個人蔵	17

作家名	作品名	制作年	サイズ (cm)	素材・技法	所蔵	Cat. no.
舟越桂	森の奥の水のほとり	2009	96.2×50.8×34.0	楠に彩色、大理石、真楡	個人蔵	18
舟越桂	海にとどく手	2016	193.0×112.0×89.0	楠に彩色、大理石、雑木	作家蔵	19
舟越桂	スフィンクスには何を問うか？	2020	101.0×53.0×32.0	楠に彩色、大理石、革	作家蔵	20

4章 私は思う

舟越桂	自画像	1997	56.0×26.5	紙に木炭、修正液	作家蔵	26
舟越桂	「さなぎを舞う」のための習作	2000	29.5×21.0	紙にインク、修正液	作家蔵	29
舟越桂	ゆがんでいく顔	2001頃	33.0×24.5	紙に水彩、墨	作家蔵	30
舟越桂	幅跳びの裸婦	2002頃	105.0×89.0	紙に鉛筆	作家蔵	34
舟越桂	「言葉をつかむ手」のための習作	2003	46.0×38.5	紙に木炭、パステル、修正液	作家蔵	35
舟越桂	蔵書票	n.d.	41.0×32.5	紙に木炭、墨、修正液	作家蔵	36
舟越桂	「水に映る月蝕」のためのドローイング	2003	98.0×90.0	紙に鉛筆	作家蔵	37
舟越桂	青いバックの少年	2004	24.0×19.0	紙に水彩、鉛筆、アクリル、墨、修正液	作家蔵	38
舟越桂	手のある裸婦	2004	94.0×91.0	紙に鉛筆	作家蔵	39
舟越桂	習作	2004	37.5×26.5	紙に木炭	作家蔵	40
舟越桂	戦争を視るスフィンクス (制作過程の版画に彩色)	2005	30.0×22.5	ソフトグラウンド、パステル、コンテ、色鉛筆	作家蔵	41
舟越桂	「風の日のスフィンクス」のためのドローイング	2005	101.0×90.5	紙に鉛筆	作家蔵	42
舟越桂	スフィンクス習作	2005	33.0×24.0	紙に木炭、アクリル、墨、パステル、修正液	作家蔵	43
舟越桂	「戦争をみるスフィンクス」のための習作	2006	39.5×27.5	紙に木炭、コンテ	作家蔵	44
舟越桂	「森に浮くスフィンクス」のための習作	2006	43.5×31.0	紙にインク、水彩、修正液	作家蔵	45
舟越桂	スフィンクス習作	2007	55.0×39.5	紙にインク	作家蔵	46
舟越桂	横向きのピノキオの顔	2007	43.7×31.0	紙に鉛筆、パステル	作家蔵	47
舟越桂	「見晴らし台のスフィンクス」のためのドローイング	2008	111.5×90.5	紙に鉛筆	作家蔵	48
舟越桂	DR1020	2008	61.0×46.0	紙、フィルムに鉛筆、コンテ、色鉛筆	作家蔵	49
舟越桂	「深い森」のためのドローイング	2011	109.0×78.9	紙にアクリル	作家蔵	50
舟越桂	オーロラをみるスフィンクス (制作過程の版画に加筆)	2013頃	49.0×35.0	メゾチント、パステル	作家蔵	51
舟越桂	「青の書」のためのドローイング	2020	55.0×39.0	紙に木炭、パステル	作家蔵	52
舟越桂	「青の書」のためのドローイング	2020	54.5×39.5	紙に木炭、パステル	作家蔵	53
舟越桂	絵葉書・カード				舟越家蔵	83
舟越桂	言葉メモ				作家蔵	84
舟越桂	アトリエのドローイング				作家蔵	参考作品

5章 私の中をながれるもの

舟越保武	聖ルドビコ茨木	1959-60	35.0×26.5	紙に鉛筆	個人蔵	54
舟越保武	ANNA	1964	33.0×25.0	紙に鉛筆	個人蔵	55
舟越保武	ダミアン	1967	55.0×36.5	紙に木炭	個人蔵	56

作家名	作品名	制作年	サイズ (cm)	素材・技法	所蔵	Cat. no.
舟越保武	キリスト	1972	37.0×27.0	紙に木炭	個人蔵	57
舟越保武	日色さん	1985	48.0×33.6	紙に鉛筆	個人蔵	58
舟越保武	みちこ	1997	62.0×55.0	紙に木炭	個人蔵	59
舟越桂	青い髪	2001頃	57.5×39.0	紙に水彩、墨、 インク、修正液	作家蔵	31
舟越直木	Drawing	2000	51.0×44.0	紙に木炭	個人蔵	60
舟越直木	maria	2009	75.5×56.0	紙に木炭	個人蔵	61
舟越直木	夜の夢	2013	40.0×30.5	厚紙に木炭、パステル	個人蔵	62
舟越直木	若い女性像	2013	51.0×36.0	厚紙に木炭、パステル	個人蔵	63
舟越直木	マグダラのマリア	2013	45.0×78.0	厚紙に木炭、パステル	個人蔵	64
舟越道子	しづかな町で 長生き時計が鳴る	1977	20.5×16.0	紙にグアッシュ	作家蔵	65
6章 私ははぐくむ						
舟越桂	木っばの人形	1984, 1991	h17.0, h12.0	楠に彩色	舟越械、 舟越みも蔵	66
舟越桂	びんびん	1986頃	h12.0	板と樺に彩色、 ボタン、銅板	舟越械蔵	67
舟越桂	遊べる家	1991頃	h42.0	合板、針金、ブリキ、 ピアノ線、 蝶番(チョウツガイ)、 電球、電池	舟越みも蔵	68
舟越桂	顔のないイス	1990	h60.0	樺と楠に彩色、 シャベルの柄、皮	舟越みも蔵	69
舟越桂	ヤギの形をした木馬 (レイのヤギの木馬より)	1982	h82.0	楠と樺に彩色、ボルト	舟越械蔵	70
舟越桂	板きれの人形	1985頃	h15.0～20.0	楠と杉に彩色、針金	舟越械、 舟越みも、 末盛武彦、 末盛春彦、 その他蔵	71
舟越桂	木とブリキの クラシック・カー	1989, 1983	h11.0	楠と樺に彩色、ブリキ、 針金、真鍮棒	舟越械、 舟越みも蔵	72
舟越桂	皮手のうさぎ	1980頃	h19.0	皮手袋、軍足、糸	舟越千恵子蔵	73
舟越桂	木のでっぼう	1985	h15.0～20.0	楠、針金、布リボン、 鉄パイプ	舟越械、 末盛武彦、 末盛春彦蔵	74
舟越桂	絵本(Little DrummerBoy)	1982,1984	h10.0	水彩紙、皮、リボン、 糸	舟越千恵子蔵	75
舟越桂	木っばの家	1980- 90	h5.0～8.0	楠に彩色	舟越千恵子、 舟越械、 舟越みも蔵	76
舟越桂	木の絵本	1991	h21.0	楠に彩色	舟越みも蔵	77
舟越桂	帽子	1986頃	h26.0	ボア、皮、 バイアステープ、 プラスチック、糸	舟越械蔵	78
舟越桂	レンガの家	1993頃	h23.0,h18.0,h10.0	植木鉢、白セメント、 シリコンコーキング剤、 石膏、針金、ガラス、 ブリキ、 ウイスキーびんの蓋、 小石、布	舟越千恵子、 舟越械、 舟越みも蔵	79

作家名	作品名	制作年	サイズ(cm)	素材・技法	所蔵	Cat. no.
舟越桂	絵本 (What a Wonderful World)	1982, 1984	h11.0	水彩紙、皮、 リボン、糸	舟越千恵子蔵	80
舟越桂	ハンガー	1988	h36.0	楠に彩色、針金、 ボルト、手袋	舟越械蔵	81
舟越桂	教会	1983頃	h30.0	楠に彩色、真鍮線、 皮、針金、ビーズ	舟越械蔵	82
舟越桂	あの頃のボールをうら返した。	2019		皮	作家蔵	参考 作品
舟越桂	立ったまま 寝ないの! ピノッキオ!!	2007		楠に彩色、バネ	作家蔵	参考 作品

2021松濤美術館公募展

会期＝令和3(2021)年2月12日(金)～23日(火・祝)

会場＝地下1階主陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

松濤美術館公募展は、渋谷区に在住、在勤および在学の方々の創作活動の活性化を目的として開館当初から始められたもので、今回で38回目を迎えた。毎回多くのご応募をいただき、作品発表の場として着実に定着してきた。

本年も学生を含め最年少15歳から最年長91歳まで幅広い年齢層の方々が多数応募した。特に例年と異なる感染症の流行という状況のなか、じっくり制作に取り組んだ方々が多かったのか、例年に比べ、大きな作品が多く応募された。

応募作品は、3名の審査委員により厳正な審査を行い、その中から下記の通り選出し入選作品とした。これらの入選作品は全て展覧会に出陳された。そのうち下記の通り13点の受賞作品が選ばれ、贈呈式にて表彰された。受賞者は10代から70代までの各年代にわたった。

審査状況

応募作品総数 115点

入選作品総数 61点

審査委員

内田 あぐり(審査委員長・日本画家)

小杉 小二郎(画家)

猿渡 紀代子(美術史家)

[松濤美術館賞]

松尾 真佐美 《密》

[優秀賞]

荻野 えい子 《Ground》

黒須 正司 《海月》

[学生優秀賞]

佐藤 怜奈 《日常》

[奨励賞]

佐藤 裕子 《仮面市場》

成清 一生 《息苦しい日々》

望月 ゆう子 《2020 ディスタンス》

白須 清敬 《ブレインヘブン》

米原 祐子 《ボクの「よだかの星」の物語り》

小川 富美夫 《風の匂い》

齋藤 多聞 《渦潮》

佐藤 浩平 《視線の先》

木藤 瑛菜 《408円》



松濤美術館賞 松尾 真佐美《密》



サロン展

渋谷区立松濤美術館所蔵 南 薫造 日々の美しきもの Minami Kunzo: Beautiful Moments from Everyday Life, from the Shoto Museum of Art Collection

会期＝令和3(2021)年2月12日(金)～3月7日(日)

会場＝2階サロンミュージーゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

南薫造(1883-1950)は、近代日本洋画壇に大きな足跡を残した画家である。1883(明治16)年に広島県内海町(現・呉市安浦町)生まれ、東京美術学校(現・東京藝術大学)で西洋画を学んだ。卒業後にはイギリスへ留学し、フランスなどヨーロッパを巡り、1910(明治43)年に帰国。同年の第4回文部省美術展覧会(文展)で渡欧作《坐せる女》(1908/明治41年、広島県立美術館)が三等を受賞し、一躍、画壇にデビューした。その後も文展で受賞を重ね、洋画家として活躍を続けるとともに、日本水彩画会の創立や文展や帝展の審査員、さらに帝国芸術院会員および帝室技芸員も務めた。また、1932(昭和7)年から11年間、東京美術学校で教鞭をとり、後進の指導にもあたった。

2020年は没後70年という節目の年だった。本展では、ご遺族からご寄贈いただいたスケッチ、水彩、油彩の作品、231点から、前回2019年に開催した南薫造展では紹介しきれなかった、人物画や静物画を中心に49点を紹介した。日々の風景や生活、そこに暮らす人々を描いた南の作品は詩情にあふれ、温かく、彼の柔和な人柄がにじみ出ているようである。第1章「人を描く」、第2章「人々の営み」、第3章「植物、動物、静物を描く」、第4章「営みの気配」と章を分け、何気ない生活のなかで彼が心に留めたであろう美しい瞬間を描いた作品をご覧いただいた。

なお、「学芸員によるギャラリートーク」を3回開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止とした。

サロン展 渋谷区立松濤美術館所蔵
南 薫造 日々の美しきもの
Minami Kunzo: Beautiful Moments from Everyday Life
from the Shoto Museum of Art Collection

南薫造(1883-1950)は、近代日本洋画壇に大きな足跡を残した画家です。1883(明治16)年に広島県内海町(現・呉市安浦町)生まれ、東京美術学校(現・東京藝術大学)で西洋画を学んだ。卒業後にはイギリスへ留学し、フランスなどヨーロッパを巡り、1910(明治43)年に帰国。同年の第4回文部省美術展覧会(文展)で渡欧作《坐せる女》(1908/明治41年、広島県立美術館)が三等を受賞し、一躍、画壇にデビューした。その後も文展で受賞を重ね、洋画家として活躍を続けるとともに、日本水彩画会の創立や文展や帝展の審査員、さらに帝国芸術院会員および帝室技芸員も務めた。また、1932(昭和7)年から11年間、東京美術学校で教鞭をとり、後進の指導にもあたった。

本展は、ご遺族からご寄贈いただいたスケッチ、水彩、油彩の作品、約231点から、前回2019年2月に開催した南薫造展では紹介しきれなかった、人物画や静物画を中心に49点を紹介します。日々の風景や生活、そこに暮らす人々を描いた南の作品は詩情にあふれ、温かく、彼の柔和な人柄がにじみ出ているようである。これまで通じていた日常が溢れに溢れた瞬間、何気ない生活のなかで彼が心に留めたであろう美しい瞬間を描いた作品をご覧いただいた。

2020年は没後70年という節目の年でした。当館所蔵の作品を通して、南薫造の魅力を再発見してください。

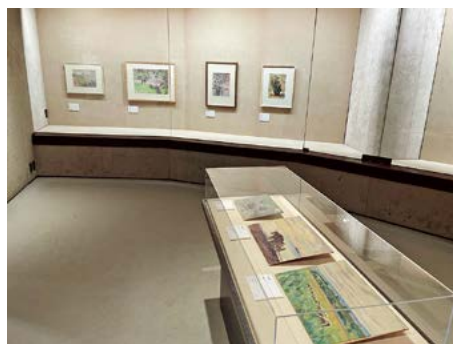
2021年2月12日(金)～23日(火・祝)
27日(土)～3月7日(日)

観覧時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休 日：月曜日・2月24日(水)～26日(金)
会 場：渋谷区立松濤美術館 2階サロンミュージーゼ・特別陳列室
主 催：渋谷区立松濤美術館

入館料無料
Admission Free

学芸員によるギャラリートーク
2月14日(日)・20日(土)・3月2日(日) 各回午後2時～ 約30分
※観覧予約の要はありません。

松濤美術館
THE SHOTO MUSEUM OF ART



出品目録

作品番号	目録番号	作品名	作者名	制作年	技法、材質
第1章 人を描く					
油-266	157	西洋女性	南 薫造	1909年	油彩、カンヴァス
水-327	21	風の中の少女	南 薫造	1907年－10年	水彩、紙
水-323	20	ベンチに座る少女	南 薫造	1907年－10年	水彩、紙
水-348	11	スタジオにて	南 薫造	1907年頃	水彩、紙
水-381	63	印度の男	南 薫造	1916年	水彩、紙
水-389	64	荷を運ぶ男	南 薫造	1916年頃	水彩、紙
水-264	138	少女	南 薫造	1922年	水彩、紙
水-047	136	うつむく少女	南 薫造		水彩、紙
水-256	137	横向きの女	南 薫造		水彩、厚紙
水-182	87	子供	南 薫造	1939年頃	水彩、紙
油-203	162	セーラー服	南 薫造		油彩、ボード
油-099	161	おかっぱの娘	南 薫造		油彩、板
第2章 人々の営み					
水-255	139	レースカーテンのある部屋	南 薫造		水彩、厚紙
油-311	165	海辺の人々	南 薫造		油彩、カンヴァス
油-128	175	小舟	南 薫造		油彩、板
油-255	163	ピアノの前の少女	南 薫造	1927年頃	油彩、板
油-248	164	ゴルフ	南 薫造		油彩、板
油-176	166	海水浴	南 薫造		油彩、板
水-377	58	マドラス	南 薫造	1916年頃	水彩、紙
油-261	173	朝鮮の農村	南 薫造	1926年	油彩、板
水-206	89	台湾風景	南 薫造	1930年頃	水彩・木炭、紙
水-200	85	中国の街並み	南 薫造	1939年頃	水彩、紙
水-201	86	中国風景	南 薫造	1939年頃	水彩、紙
水-261	153	川沿いの家並	南 薫造		水彩、紙
水-456	120	富士山にかかる笠雲	南 薫造		水彩、紙
油-028	211	岬の灯台	南 薫造		油彩、板
水-080	40	農夫と積藁	南 薫造	1907年－10年	水彩、紙
水-346	37	月夜	南 薫造	1907年－10年	水彩、紙
水-156	70	朝鮮風景	南 薫造		水彩、紙
水-260	151	俵山温泉	南 薫造	1949年	水彩、紙
油-121	229	瀬戸の春	南 薫造	1948年頃	油彩、カンヴァス
第3章 植物、動物、静物を描く					
水-337	43	草花	南 薫造	1907年－10年	水彩、紙
水-094	45	夾竹桃	南 薫造	1907年－10年	水彩、紙
水-098	46	植木鉢の花	南 薫造	1907年－10年	水彩、紙
水-496	135	花瓶	南 薫造		水彩、紙
油-078	179	静物 葡萄と桃	南 薫造		油彩、板

作品番号	目録番号	作品名	作者名	制作年	技法、材質
油-333	183	無花果	南 薫造		油彩、カンヴァス
水-050	134	箆笥と花	南 薫造		水彩、紙
油-326	182	花	南 薫造		油彩、カンヴァス
油-231	181	雉	南 薫造		油彩、カンヴァス
水-400	130	静物	南 薫造	1922年	水彩、紙
水-051	129	蟹と海老	南 薫造		水彩、紙
油-103	191	羊の群	南 薫造		油彩、板
油-092	169	海辺の馬	南 薫造		油彩、板
油-075	187	黒鳥	南 薫造		油彩、板

第4章 営みの気配

水-068	155	安浦にて	南 薫造		水彩、紙
水-072	156	安浦にて	南 薫造		水彩、紙
水-313	122	夜の川沿いの家並	南 薫造		水彩、紙
水-471	123	雪の積もった家	南 薫造		水彩、紙

・所蔵は全て渋谷区立松濤美術館

Ⅲ 出版

令和2（2020）年度



《カタログ》

特別展「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催記念 いっぴん、ベッピン、絶品！～歌麿、北斎、浮世絵師たちの絵画」

27.0×19.8cm

全160p、カラー図版120p

- ・内藤正人「いっぴん、ベッピン、絶品！ 江戸の美人画、とりどりの美」（対英訳）
- ・コラム（大平奈緒子「江戸の女性の装い」「江戸の遊里と遊女たち」）
- ・作品解説（図版ページ）
- ・作家解説
- ・主要参考文献
- ・出品目録（対英訳）



《カタログ》

特別展「真珠—海からの贈りもの」

21.0×15.0cm

全128p、カラー図版80p

- ・穂葉昭江「天然真珠の世界」
- ・松月清郎「御木本真珠店の装身具に見る西洋デザインの受容」
- ・コラム（西美弥子「16世紀イギリス宮廷における真珠の流行」、平塚泰三「天下人たちの夢を彩った真珠の輝き」）
- ・御木本幸吉
- ・主要参考文献
- ・作品リスト（対英訳）／作品解説
- ・技法／用語解説



《カタログ》

特別展「後藤克芳 ニューヨークだより“一瞬一瞬をアートする”」

27.0×19.8cm

全128p、カラー図版94p

- ・花田美穂「後藤克芳と米沢」(対英訳)
- ・沢山遼「ハンドメイド・レディメイド・ペインティング」(対英訳)
- ・コラム (1木原天彦「後藤克芳と地方の前衛」、2-3清水緑「後藤克芳とニューヨーク」「ニューヨークだより」)
- ・参考作品
- ・アルバム
- ・年表
- ・主要参考文献
- ・作品リスト (対英訳)

*各章解説の英訳あり



《カタログ》

特別展「舟越桂 私の中にある泉」

26.0×18.5cm

全138p、図版98p

- ・舟越桂「作家の言葉」(対英訳)
- ・西美弥子「混沌を鮮明に表すことー舟越桂の人物表現」
- ・平泉千枝「舟越桂ー私の中の泉」
- ・作品リスト (対英訳) / 作品解説
- ・作品解説 (図版ページ)
- ・舟越桂 略年譜
- ・舟越保武・舟越道子・舟越直木 略年譜
- ・主要参考文献 (舟越桂関連)

*各章解説の英訳あり



《カタログ》

サロン展「渋谷区立松濤美術館蔵 南 薫造 作品目録」

25.7cm×18.3cm

全64p、カラー図版48p

- ・西美弥子「子供の眼を持つ画家－南 薫造の自然へのまなざし」
- ・南 薫造略歴
- ・所蔵作品リスト

- *本作品目録は令和元（2019）年に開催されたサロン展「南 薫造展」(2月10日～3月17日)に合わせて刊行されたものであるが、令和2（2020）年度サロン展「渋谷区立松濤美術館所蔵 南 薫造 日々の美しきもの」展(2月12日～3月7日)の開催にあたり、作品情報など必要最小限の改訂を行い、再発行したものである。
- *サロン展「渋谷区立松濤美術館所蔵 南 薫造 日々の美しきもの」展では、本展の章解説および作品解説を掲載したリーフレット（25.4×35.2cm 二つ折り、両面カラー印刷）を発行し、本作品目録購入者に配布した。

IV 教育普及

*開催中止は全て新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

1 講演会

各企画展ではほぼ1回、展覧内容に関連した講演会を開催している。専門家による企画展出品作品の歴史的背景や芸術上の展望などが語られ、参加者からの質問も活発である。

令和2(2020)年度実績

期日	テーマ	講師(経歴は当時のもの)	参加者
4月11日(土) 午後2時から	浮世絵概観－絵画史としての江戸風俗画	内藤正人(本展監修者、慶應義塾大学文学部教授、同アートセンター所長)	開催中止
7月23日(木・祝) 午後3時30分から	御木本幸吉と初期の装身具のデザイン	松月清郎(本展監修者、ミキモト真珠島 真珠博物館館長)	20人
11月8日(日) 午後2時から	後藤克芳と米沢	花田美穂(米沢市上杉博物館 学芸担当主査)	23人
1月23日(土) 午後3時から	スペシャル対談(映像上映) 舟越桂氏×いとうせいこう氏	舟越桂、いとうせいこう(作家・クリエイター)	開催中止 ※美術館 YouTube において 映像配信

2 美術教室

区内在住、在勤、在学者を対象に絵画等の基本を一通り学びたい人のために開講している。

令和2(2020)年度実績

教室	講師	期間・回数	曜日・時間	参加者 (応募者)
油絵・アクリル画教室	原良介	6月18日～7月16日・ 5回(予定)	木曜日・午後2時～4時	開催中止
パステル教室	赤塚美知子	6月19日～7月17日・ 5回(予定)	金曜日・午後2時～4時	〃
子ども美術教室	轟颯馬、宮田みな美	8月21日、22日・2回	金、土曜日・午後2時～4時	18人(20)
水彩画教室A	根岸尚徳	10月15日～11月12日・5回	木曜日・午後2時～4時	15人(29)
水彩画教室B	武政朋子	10月16日～11月13日・5回	金曜日・午後6時～8時	12人(15)

3 コンサート

令和2(2020)年度実績

実施日	コンサート名	出演者	演奏曲	参加人数
5月6日(水・休) 午後2時～3時(予定)	落語と太神楽で江戸を体感!	落語:春風亭柳若 太神楽:鏡味よし乃	落語・太神楽の実演	開催中止
9月6日(日) 午後2時～3時半	ミュージアムコンサート 「真珠の輝きによせて」	永山友美子 (アイリッシュハーブ)	「秋桜」ほか11曲	27人
12月26日(土) 午後6時30分～8時	レコード&CDコンサート		舟越桂氏所蔵の レコード・CDから26曲	26人

4 ギャラリートーク

令和2(2020)年度実績

実施日	展覧会名	参加者
4月17日(金)予定	いっぴん、べっぴん、絶品!～歌麿、北斎、浮世絵師たちの絵画	開催中止
5月2日(土)予定	〃	〃
5月10日(日)予定	〃	〃
6月13日(土)予定	真珠－海からの贈りもの	〃
7月3日(金)	〃	35人
7月19日(日)	〃	19人
10月17日(土)	後藤克芳 ニューヨークだより“一瞬一瞬をアートする”	4人
11月1日(日)	〃	16人
11月13日(金)	〃	22人
12月11日(金)	舟越 桂 私の中にある泉	51人
1月9日(土)予定	〃	開催中止
1月17日(日)予定	〃	〃
2月14日(日)予定	南 薫造 日々の美しきもの	〃
2月20日(土)予定	〃	〃
3月2日(火)予定	〃	〃

5 展覧会関連イベント

令和2(2020)年度実績

実施日	イベント名	出演者	参加者
4月29日(水・祝) 午前11時～ 予定	はぎれでボタンづくり	当館学芸員	開催中止
7月5日(日) 午後1時～	パールビーズでアクセサリづくり！	当館学芸員	50人
7月11日(土) 午後2時～	特別講座 19世紀イギリスにおけるルネサンスの宝飾デザインの復興	西美弥子(本展担当学芸員)	33人
7月18日(土) 午後2時～	特別講座 日本のアール・デコ・ミキモトの帯留	高波真知子(当館副館長)	26人
8月29日(土) 午前11時～、 午後2時～	はじめての真珠講座	藤井寛(森パール、日本真珠振興会 真珠検定シニアアドバイザー)	午前11時 11人、 午後 2時 12人
9月5日(土) 午後6時30分～	夜のスペシャル・ギャラリートーク	穂葉昭江(本展監修者、穂葉アンティークジュウリー美術館館長)	14人
10月25日(日) 午後2時～	特別講座 後藤克芳の“ニューヨークだより”	清水緑(本展担当学芸員)	21人
11月15日(日) 午前11時～	いろ紙でモビールをつくろう	当館学芸員	25人
12月20日(日) 午前11時～、 午後2時～	特別インタビュー「舟越桂、自作を語る」(映像上映)	舟越桂	午前11時 33人 午後 2時 32人 ※後日、美術館 YouTubeにおいて映像配信
1月10日(日) 午後2時～ 予定	特別講座 舟越桂の世界－展覧会開催にあたって	西美弥子(本展担当学芸員)	開催中止

6 建築ツアー

白井晟一設計の当館内を建築に関する説明を聞きながら見学します。

令和2(2020)年度実績

実施日:時間は各日午後6時～6時40分頃	参加者
7月3日(金)	9人
7月10日(金)	4人
7月17日(金)	5人
7月24日(金・祝)	23人
7月31日(金)	0人

※7月を除く各月、開催中止

V 入館状況

令和2(2020)年度実績

展覧会名	期 間	入館者数	1日平均 入館者数
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催記念 いっぴん、ベッピン、絶品! ～歌麿、北斎、浮 世絵師たちの絵画	2020(令和2)年4月4日(土)～ 5月17日(日) ➡開催中止 0日間(38日間予定)	0人	0人
真珠-海からの贈りもの	2020(令和2)年6月2日(火)～ 9月22日(火・祝) 98日間	10,727人	109人
後藤克芳 ニューヨークだより “一瞬一瞬をアートする”	2020(令和2)年10月3日(土)～ 11月23日(月・祝) 44日間	5,487人	125人
舟越 桂 私の中にある泉	2020(令和2)年12月5日(土)～ 2021(令和3)1月31日(日) 44日間	12,444人	283人
フランシス・ベーコン バリー・ジュールコレク ションによる ーリース・ミューズ7番地、アトリエからのドローイング、ド キュメントー	2021(令和3)年度に開催延期	0人	0人
2021 松濤美術館公募展	2021(令和3)年2月12日(金)～ 2月23日(火・祝) 10日間	2,393人	133人
サロン展 渋谷区立松濤美術館所蔵 南 薫造 日々の美しきもの	前期 2021(令和3)年2月12日(金)～ 2月23日(火・祝) 10日間 後期 2021(令和3)年2月27日(土)～ 3月7日(日) 8日間		

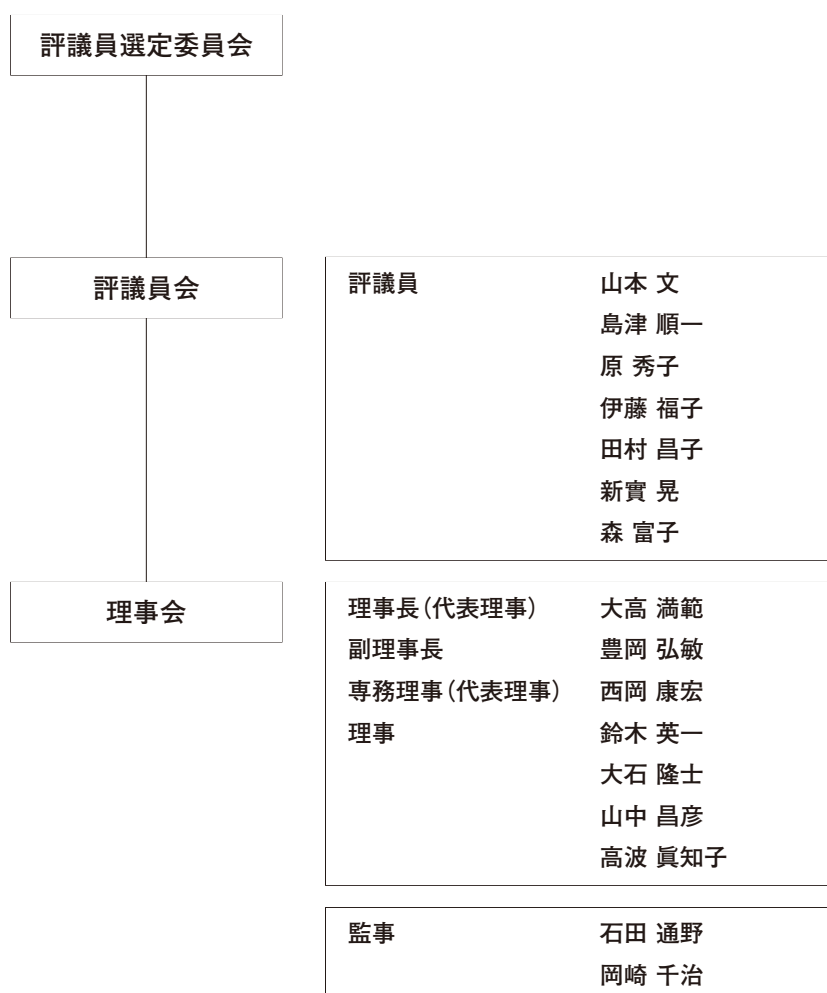
令和2(2020)年度実績

4月4日(土)～ 5月17日(日)	特別展「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催記念 いっぴん、ベッピン、絶品！～歌麿、北斎、浮世絵師たちの絵画」展が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
5月15日(金)	理事会
5月30日(土)	評議員会
6月2日(火)	特別展「真珠－海からの贈りもの」始まる
7月23日(木・祝)	講演会:「御木本幸吉と初期の装身具デザイン」 講師:松月清郎(本店監修者、ミキモト真珠島 真珠博物館館長)
9月22日(火・祝)	特別展「真珠－海からの贈りもの」終了
10月3日(土)	特別展「後藤克芳 ニューヨークだより“一瞬一瞬をアートする”」始まる
11月8日(日)	講演会:「後藤克芳と米沢」 講師:花田美穂(米沢市上杉博物館 学芸担当主査)
11月23日(月・祝)	特別展「後藤克芳 ニューヨークだより“一瞬一瞬をアートする”」終了
12月5日(土)	特別展「舟越 桂 私の中にある泉」始まる
1月31日(日)	特別展「舟越 桂 私の中にある泉」終了
2月12日(金)	「2021 松濤美術館公募展」始まる サロン展「渋谷区立松濤美術館所蔵 南 薫造 日々の美しきもの」(前期)始まる
2月16日(火)	理事会
2月23日(火・祝)	「2021 松濤美術館公募展」終了 サロン展「渋谷区立松濤美術館所蔵 南 薫造 日々の美しきもの」(前期)終了
2月27日(土)	サロン展「渋谷区立松濤美術館所蔵 南 薫造 日々の美しきもの」(後期)始まる
3月4日(木)	評議員会
3月7日(日)	サロン展「渋谷区立松濤美術館所蔵 南 薫造 日々の美しきもの」(後期)終了

VII 組織

公益財団法人渋谷区美術振興財団

当館は、渋谷区の委託を受けて、公益財団法人渋谷区美術振興財団が運営している。企画展等に関わる諸事業は、機敏でしかも柔軟な経理活動が伴わなければ効果的に推進することが難しいため、行政の公会計制度から独立した財団の財務会計によって計画的な事業を推進することで区民文化の振興を目指しているのである。財団は区の出資により設立され、独自の組織と所要経費をもち、開館時間、休館日、入館料等の美術館の基本的利用条件の決定を除き、施設の維持管理、展観事業及び文化活動の全般にわたって委託されている。



※令和3年3月31日現在

VIII 利用案内

開館時間

〔特別展〕

午前10時～午後6時

*金曜日は午後8時まで開館

*最終入館は閉館30分前まで

〔公募展・渋谷区小中学生絵画展・サロン展〕

午前9時～午後5時

*最終入館は閉館30分前まで

休館日

毎週月曜日（祝日は除く）

国民の祝日の翌日（土・日曜日は除く）

年末年始 (12月29日~1月3日)

展示替期間

入館料

展覧会毎に異なります。

*団体（10名以上）のお客様が同時に入館される場合、2割引となります。

*障がい者とその付添の方各1名は無料です。入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。

*金曜日に入館される渋谷区民の方は無料です。入館の際に住所のわかるものをご提示ください。

*土・日曜日、休日、夏休み期間中、小中学生は無料です。

案内図



主要交通機関

京王井の頭線

ハチ公バス

JR山手線・東京メトロ・東急電鉄

* 駐車場はありません。

神泉駅下車 徒歩5分

渋谷駅より「丘を越えてルート（上原・富ヶ谷ルート）」にて

「松濤美術館入口」下車 徒歩5分

渋谷駅八千公口下車 徒歩15分